第10回定例岡山県教育委員会議事録

１　日　　時　　令和８年10月９日（金）
　　開会　１３時３０分　　閉会　１５時１０分

２　場　　所　　教育委員室

３　出　席　者

教育長		中村　正芳
委員（教育長職務代理者）		上地　玲子
委員		須江　健治
委員		中嶋　佳乃子
委員		大原　あかね
教育次長		藤原　いずみ
教育次長		佐々木　亨
学校教育推進監		鶴海　尚也
教育政策課	課長	浜原　浩司
	副課長	小野　敏靖
	総括主幹	水島　忠彦
高校教育課	課長	金井　庸記
高校魅力化推進室	室長	藤原　紳一

４　傍聴の状況　　０名

５　附議事項
（１）　公立学校職員の懲戒処分について

６　協議事項
（１）令和９年度重点事業について
（２）岡山県高等学校教育改革実行計画（骨子案）について

７　報告事項
（１）One Young World グローバルサミット2026への生徒派遣について

８　その他

９　議事の大要

開会

非公開案件の採決

（教育長）

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、附議事項（１）は人事案件のため、協議事項（１）は知事、議会との協議を要するため、協議事項（２）は議会との協議を要するため、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

（委員全員）

（特になし）

（教育長）

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。附議事項（１）、協議事項（１）、協議事項（２）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

（委員全員）

挙　　手

（教育長）

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

報告事項（１）One Young World グローバルサミット 2026 への生徒派遣について

・高校教育課長から資料により一括説明

（委員）

現在、派遣された人たちがアンバサダーとして活動しているとのことだが、今年度の申し込みが 7 名という結果について、アンバサダーの活動による普及の手応えを感じているのか、あるいはもっと多くの申し込みを期待していたのか、状況を伺いたい。

（高校教育課長）

今年度は昨年度の 2 倍以上（昨年度 3 名から今年度 7 名）の申し込みがあり、一定の効果があったと考えている。ただ、応募にあたっては英語力等の条件があるほか、「11 月 3 日時点で 18 歳になっていること」といった年齢制限も存在するため、応募を希望しても要件を満たさないケースがある。条件が比較的厳しいため狭き門ではあるが、本当はより多くの生徒に応募していただきたいと考えているのが実態である。

（委員）

こうした派遣の機会について、高校生たちはどのような場面で情報を得ることができるのか伺いたい。

（高校教育課長）

「夢育イニシアチブ」など岡山大学とのイベントや、県教委が実施する各種イベント等で周知を行っているほか、各学校へも通知を散布している。

（委員）

県北の学校に対してより重点的に知らせるなどの対応は行っているか。資料を見たところ県南の学校が多い印象を受けたため、県北へのプロモーションがどうなっているか気になる。

（高校教育課長）

各学校への周知方法は基本的に同様である。なお、情報の起点となる「夢育推進員」は、年間を通じて県内全域から 100 名弱（90 数名）が参加しており、県北の生徒も含まれている。本来は、そうした活動のプロセスを経て今回のプログラムに繋がっていくというストーリーを想定している。

以 下 、 非 公 開 の た め 省 略

閉会